



むらさき朝会「きまり」

今日8日(金)は、むらさき朝会でした。今月の生活目標は「学校生活のきまりを守ろう」です。今月は1年生が学校生活の中にあるたくさんの「きまり」とその大切さについて教えてくれました。1年生の皆さんの発表から上級生もきまりについて学び直すことができました。

そして私からは、はじめに6年生の修学旅行の紹介をしました。スライドを見せながら、平和学習に取り組んだことを紹介しました。そして、これは私の私見なのですが、「戦争の反対の言葉って『秩序』」だという話をしました。例えば戦争が起こり、その戦争が終わりを迎えると、そこには、「秩序」が最も必要になってきます。秩序を平たく言えば「望ましい状態を保つための順序や『きまり』」で、それが保たれたその先に「平和」が待っていると思うからです。学校生活を見渡してみても、子供たちがよりよい生活を過ごすための様々な「きまり」があります。そのきまりを守って、一人一人が描く「平和」が待っているのです。例えば、学校でも小さな戦争が起きます。ドッジボールをしているとき、ラインを踏んだ!当たったのに外野に出ない!などでもめ事が起こります。そのときに、話し合っってルールを作って「一人の人ばかりが投げない・ラインを踏んだら相手のボール」などみんなが楽しくドッジボールができるようにルールを決めていきます。この小さな戦争を解決する最も有効な手段は、「話し合い」なのです。子供たちには、一年生で行われた学級活動の写真を見せながら「自分の思いをしっかりと伝えること」「友達の思いをしっかりと受け止めること」が話し合いには必要で、誰かに任せてはいないか、話を聞く邪魔をしていないかなど、問いかけました。最後に6年生の修学旅行の平和集会の様子を映像で見せながら、6年生が平和に向けて誓った言葉を紹介しました。

- ① 真実を見つめる目をもち、よい判断ができる力を身に付ける
- ② 正しいと思うことを勇気をもって実行する
- ③ 友達の本当の気持ちを理解できる力を付ける

ということです。長崎に原爆が投下されて78年の年月が経ちますが、世界からは、原爆は無くならないばかりか、戦争や紛争も絶えません。私たちにできることは何なのか、子供たちには遠い世界のどこかの出来事とは思わずに、今の自分と向き合っって、今の自分にできることを考えて欲しいと伝えました。きまりを守っていくことで、平和な学校を築いていけるし、そのことが誰かの笑顔のためになると話しました。これは、6年生が平和集会で歌った「地球星歌」から引用しました。「あなたの毎日が世界をつくり 愛する想いが地球へと広がる 私は祈る明日のために まだ見ぬあなたの笑顔のために」この歌詞の意味をしっかりと考えるきっかけとなったむらさき朝会となりました。1年生の皆さんもありがとうございました。

